



**開催日時** 2022(令和4)年12月11日(日) 14:00~17:00

**開催場所** 川崎市総合自治会館大会議室

**参加者** 77名 他24名(事務局、登壇者等) 計101名

**内容**

#### ≪前半：SDCリレートーク≫

- オープニングトーク～SDCに期待すること～【中村陽一 立教大学名誉教授】
  - ・ ソーシャルデザインとは、社会をデザインするという観点であるが、社会の状況に合わせて時代によって発展性を持つものにしていくため、社会デザイン学会では、あえて定義づけはしていない。
  - ・ 「ソーシャルデザイン」とは様々な関係性の調整行為であるので、SDCでも人と人や人と組織、地域など関係性を編み直してちゃんと活かすようにすることを期待したい。「従来のまちづくりってこうだよね」とらわれず、「こんな場になったらいいよね」を開かれた場で検討しながら、進めていくとよいと思う。
- 7区SDCについて(現状とこれまでのプロセス)【協働・連携推進課長・CSO】
- 市民自治の視点からSDCを語る【小島聡 法政大学人間環境学部教授】
  - ・ 川崎市の「自治基本条例」は、人々の自治的な営み、対等な関係で市を運営していこうということが書かれており、コミュニティを尊重している。SDCは、自治基本条例が根底にある。
  - ・ 「バタフライエフェクト(蝶の羽ばたきが大きな変化を起こす)」のように、例えばこども食堂は一つの活動から始まり、現在は6000を超える活動に広がった。このように皆さんの活動が「世界を変えるかもしれない」。SDCは「かもしれない」を目指す夢や想いを持った人達が集まる場なのかと思う。
- 副市長あいさつ

#### ≪休憩・各区ポスターセッション≫

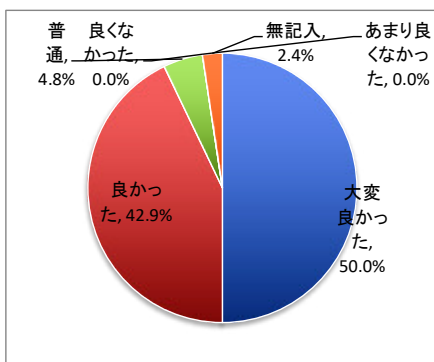
## 《後半：SDC トークセッション》

### ● トークセッション【有識者会議委員 5 名】『希望のシナリオ』実現に向けて～SDC の果たす役割～

- ・ 中村委員 ・ 連続的な越境型学習が必要（自分のいる場所や分野を越えていく）
  - ・ 課題解決というより、課題の発掘や発見、共有を大事に
  - ・ 行政が関わることを、市民の目線から出していく
  
- ・ 小島委員 ・ 行政に踊らされず、市民が踊る、踊り手を育てる
  - ・ SDC だけで全て抱えてやろうとするのではなく、地域にあふれさせていく
  - ・ 理解されないことも大事、気にせず続ける鈍感力とまちで起きていることに気づいていく敏感力、併せ持つことが大事
  
- ・ 呉委員 ・ 人と気持ちを耕し盛り上げていくことと、予算・場所・事務局など、閉じたつながりにならないようにバランスや塩梅が大事
  - ・ やめる、離れることを許容できる環境は小さなチャレンジがしやすい
  
- ・ 橋委員 ・ 立場や活動内容が違う人同士がつながる場に
  - ・ 「楽しい」が広がる関係づくり
  - ・ 何度も作り直す仕組みを
  - ・ 上手くいかなくてもやめられる状況で実験的に始める
  
- ・ 後藤委員 ・ 嬉しい×共感を育む（今の地域はお互い様になりきっていない、近所で気軽に話せる地域になることを期待している）

## ■ アンケート結果（回答者 42 名）

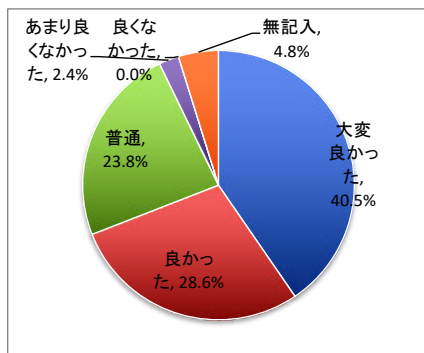
### Q プログラム前半の満足度



#### 理由

- ・ 色々な取組を知ることができた
- ・ 基本的な SDC ってなに？という話からちょっと深いところまで幅広く楽しかった
- ・ SDC の現状、取組を知れた
- ・ 第三者からみた SDC の評価よかったです。各区の SDC を運営の方のお話も聞きたかったです
- ・ 知見のある方々の話と各区の取組の現状が知れた
- ・ ちょっと詰め込みすぎな印象を受けました

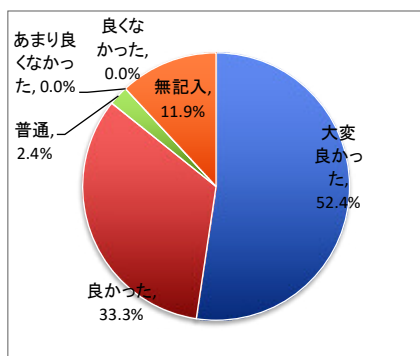
### Q ポスターセッションの満足度



#### 理由

- ・ 色々な意見を聞くことができた
- ・ 人が立っていると自然と会話することができるので、話し始めやすかった
- ・ 参加者の交流の場になっていた
- ・ 各区の様子がわかりました。共通のフォーマットで一覧にしてくれるとパッとみて理解できるとも思いました
- ・ きちんとツアー時間があるとよかったかも

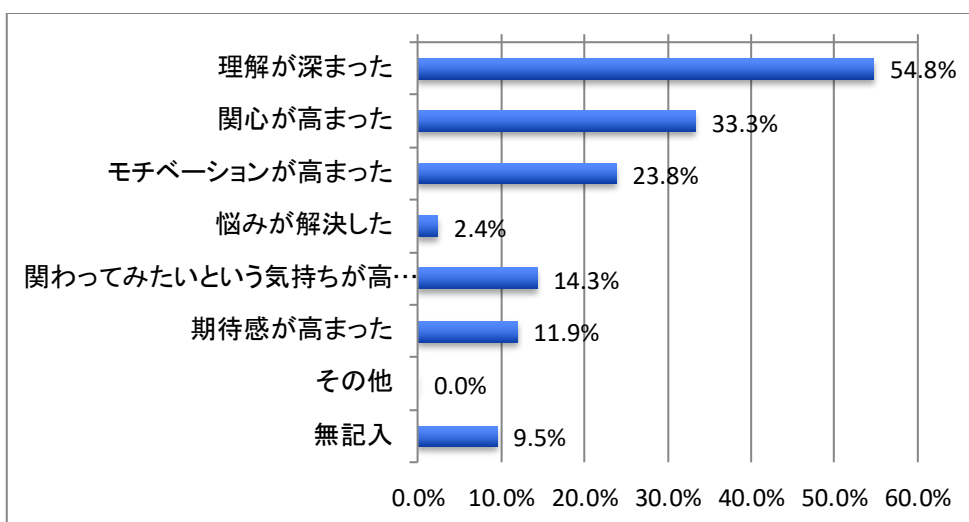
### Q プログラム後半の満足度



#### 理由

- 最後のトークセッションが時間が足りなくて残念
- スケッチブックがわかりやすくよかった
- 多様な考えや意見を多様な方向性から考えることができた
- 他市、地域の事例が知れて、とても学びになった
- 先生方の「話したいこと」が私の「聞きたいこと」とオーバーラップしていたので前向きな話だけでなく、アドバイスもあって良かった
- 話の中に色々なヒントがあり、背中を押してもらった気がする

### Q 本日のイベントを通じたSDCに対する意識の変化



### Q 当日の感想

- SDCの活動の方向性の確認ができました。ありがとうございます。
- 失敗を恐れず、まちづくりをしていきたいと思った。
- 広い知識を持った方々の興味深いお話を聞くことができ、良い機会となりました
- SDCに必要な機能やコーディネートの手法、スピンアウトの仕方などもう少し知りたい。
- SDCの理解を深めることができました。SDCは1つのまちづくりとして、交流の場づくり。この交流の場があることによって課題の発掘や意見交換ができていたと思いました。継続していけば、地域の横のつながりが増え、一人一人が楽しく生活することにつながると思います。
- SDCの取組、7区の特徴がとてもよくわかりました。取組がまだ始まったばかりですが、多摩区のイベントなどは興味があり、実施主体が知れて良かったです。
- 情報量が多くて、自分の頭の中で渋滞してました。まちの人と創って行く、答えのないSDCとはわかってましたが、SDCの運営メンバーとして、まちの方とどのように関わりを深めていくかという視点で“学び”が多かったです。